

## Primary Source Mediaのマイクロフィルム中の北星女学校関連資料

北星学園大学は55巻に及ぶマイクロフィルム文書を所蔵しており、その中には学園の形成と発展に関わるものも含まれている。それらの著作権は米国長老教会の歴史文書を管理する長老歴史協会が所有している。このマイクロフィルム文書の出版社はゲール・センゲージラーニングの出版部門であるPrimary Source Media（旧Scholarly Resources）である。

これらの文書の多くは元々は手書きであり、それぞれの読みやすさは大いに異なっている。多くには番号が付されカレンダーに簡単な説明が記されている。その後マイクロフィルム本文が続くのだが、カレンダーの説明と本文内容が食い違っているものもあり、またフィルムは存在するのにカレンダーには載っていないものもある。原本がすでに失われているものも数多い。以上のような問題点を考慮しつつ、スミスミッションセンター運営委員会は重要文書をここに転載、資料とした。著作権の問題を回避しつつ、これらの文書をより読みやすく、アクセスしやすいものにするためである。

北星と関連した文書は主に、北星女学校で奉仕した宣教師たちによって書かれた報告書と個人的書簡である。報告書は学校全体の行事、個々の教員のはたらき、そして北星女学校と結びついていた米国長老教会が北海道や全日本で行った教育、宣教のはたらきに関するものである。書簡は教会外国伝道局の書記とのやりとりである。これらの文書類はサラ・スミスが日本でののはたらきを始めた頃から宣教師としての奉仕を終える頃にまでわたるものである。しかしながら本資料集の性格上、報告書と書簡類は1887年（スミス学校創立の年）から1910年までのもののみを含めることにした。1911年以降スミスの宣教師としての最後の年にいたるまで、本資料集ウェブサイトの別のセクションにある「日本宣教師報告書」にくわしい年度ごとの報告が記載されているからである。また、女性向け宣教雑誌「女性のための女性のはたらき」(Woman's Work for Woman)も、誌名は変化しているが、スミスが札幌で奉仕していたのとほぼ同じ期間の各号を含めることにした。